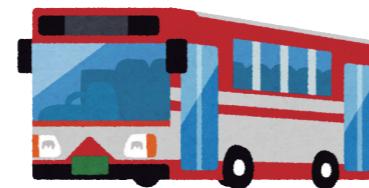


平成30年2月定例議会 個人質問 質問と答弁

1.赤字路線バスの廃止について

- Q ①路線バスの廃止によって、車の運転のできない
高齢者などの交通弱者の足が奪われることに対してどのように考えているか。
②何か方策は考えているか。

廃止届のとおり廃止されると、
多くの沿線住民の移動手段が失われることになるため、
迅速に対応し市民の足の確保に努めたい。



2.待機児童解消と公立認定こども園について

- Q 待機児童解消のため、東区可知幼稚園での預かり保育、休園中の施設を
民間に譲渡しての保育サービス、空き教室を使った
一時預かり事業の拡大の状況はどうか。

可知幼稚園の預かり保育について…現在3歳児2人、4歳児1人が利用している。
休園中の施設の利用について…市立馬屋上幼稚園で
平成31年4月開園に向けて民間運営事業者が準備している。

- Q 6小学校区に1つの認定こども園という案ではなく、
1中学校区に1認定こども園にできないか。

民にできることは民に任せることを基本方針とし、
箇所数の変更については考えていない。

- Q また、保育士不足の解消の方策は考えているか。

国実施の待遇改善に加えて、今年度から市単独で
平均2%程度の賃金上乗せの補助の実施とともに、
保育支援者配置助成事業を実施している。



3.防犯カメラの設置支援について

- Q 防犯カメラの設置支援事業は終了しているが、
支援事業を望む住民団体は多いので再開してもらえないか。

防犯カメラ設置の要望が20数件あるので、
新年度に希望調査を実施する予定であるが、具体的な方法については検討中である。



4.子どもの医療費の助成について

- Q 岡山市の子どもの医療費の助成は岡山県内の他の市町村と比べると劣っている。
通院の助成対象年齢を自己負担なしで中学3年までに広げることはできないか。

小学生の通院1割の自己負担については保護者の経済的負担の軽減の面と医療現場の
負担軽減の面の両面のバランスが取れており、適正と考えている。

平成30年6月定例議会 個人質問 質問と答弁

1.高齢者の移動手段の支援について

- Q 真庭市で行なわれている高齢者の無料送迎の取り組みについて、
岡山市としてどう思うか。導入する気持ちはあるのか。

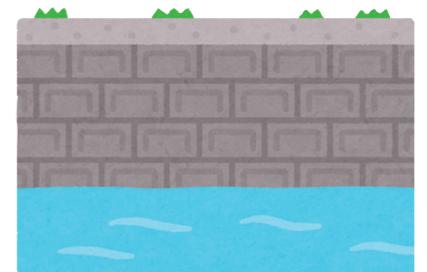
市ではコミュニティバスや乗り合いタクシーなど、
地元検討組織と一緒に生活交通の確保に取り組んでいる。
必要な移動手段の確保に向けて地域の皆様と
検討してまいりたいと考えている。



2.児島湾堤防、砂川の改修工事について

- Q 児島湾堤防と砂川の改修工事がなかなか進まないが、
予算を増やして早く工事を進めて、液状化・高潮・大雨対策を万全にしてもらえないか。
いずれも県事業であるが、岡山市としても早期完成に向けて
事業推進を強く要望していく。

- Q 高潮対策として岡東浄化センター内に
避難ビルを作つてもらえないか。
津波など緊急性を要する場合、岡東浄化センターの
管理棟内での緊急的な受け入れについて配慮していく。



3.小中学生の学力アップと就学支援について

- Q 子供たちの学力向上の為に正規教員の割合を増やせないか。

正規教員の増員を図る必要はあると認識しているが、
児童生徒数などの動向を踏まえ正規教員比率を
高めてまいりたいと考えている。



- Q 就学支援として学校給食費を増額できないか。

就学援助の学校給食費の給付割合が他の政令市と
比較して低いということは認識している。
考察を続けているところである。

4.スマートフォン依存症・インターネット依存症について

- Q 小・中学生のネット依存症の問題をどう考えているか。
何か対策がなされているか。

ネット依存対策として、生徒会や児童会の活動で
スマートフォンなどの利用時間について考えたり、
ネット依存傾向にある子どもへの
早期支援に取り組んでいきたい。



岡山市議会のホームページから、過去の市議会での個人質問の様子が、録画でご覧いただけます。